

防災マルシェでクロスロード

名古屋市の大曾根商店街の初の試み。防災マルシェに出展しました。月に1度、商店街の方々が出店するマルシェをしています。今回は、「防災」のテーマ性を持ったマルシェを企画されました。

☆クロスロードは

阪神淡路大震災の記憶を残すために、京都大学・慶応大学・ゲームクリエイターのみなさんが考案したカードゲームです。奇数の人数で1テーブル。所与の条件はあまりない中で、YESかNOか？を判断して、カードを出します。その後、なぜYESなのか、なぜNOなのかを話し合います。多数派は青座布団1枚ずつ、一人だけ異なるカードを出した人は金座布団をもらいます。いくつか問題が終わった時にテーブルで一番多い人が優勝！

そして、判断についてのいろいろな考え方を知り、記憶に残す…。

そのゲームのコンテンツの一部を提供し、クロスロードを広めているのが、FAJ（日本ファシリテーション協会）のメンバーなのです。

☆防災マルシェで

防災関係の出展は6。コミュニティコーピング、クロスロード、タイムライン、トイレ、持ち出し袋の提案（防災ボランティアさん）、α化米の配布（大曾根商店街のある北区役所）でした。

当日、現地にいくまで、どのような設えで行うのか？さえも知らない出展者。でしたが、みんな、お客さんに来てほしいよね、ということは一貫していたので、スタンプラリーにしよう！となりました。発災前、発災、発災後、賞品（α化米）とカテゴリーに分けて、スタンプカード、マップを手書きしました。

スタンプカードをテントの中でつくっていると、他の方が自然に手伝ってくださいました。それぞれ、できることを協力する、という…まさに、防災！

☆スタンプラリー、大成功！

カウントしていなかったのですが、お客さんはできるだけ6か所を回るようにして下さったようです。ありがたい！

クロスロードのテントでは、ご家族で参加して下さって、家族内でも、他の方々ともいろいろな防災についての対話ができました。



*クロスロードそのものは、問題は？カードでは風に飛ばされるのでは？進め方どうする？など、初めての屋外で行う工夫をしました。これで、外でもできる！自信ができました。

参加して下さったみなさま、一緒に盛り上げて下さったみなさま、声かけして下さった方、貴重で楽しい経験でした。ありがとうございました。